

大飯発電所1号機の定期検査状況について
(2次系主給水配管曲がり部の減肉)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所1号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力117.5万kW)は、平成16年6月4日から第19回定期検査を行っているが、2次系配管の電力自主点検^{*1}として、7月1日から5日にかけて、主給水隔離弁^{*2}から蒸気発生器までの主給水配管の超音波による厚さ測定を行ったところ、4系統ある配管のうち、3系統(A, B, C)の主給水隔離弁下流の配管曲がり部で、部分的な減肉により、当該部位について法律に基づき国に報告する対象となる厚さ(15.7mm)に至っている(実測最小値...A:14.5mm、B:12.1mm、C:13.9mm)ことが確認された。

このため、当該配管曲がり部(3箇所)を切断し調査する予定である。
なお、周辺環境への放射能の影響はない。

*1:国内外の発電所で発生した2次系配管のエロージョン・コロージョン(壊食・腐食)による減肉事象に鑑み、関西電力は平成2年から自主点検として、計画的に2次系配管の厚さ測定を行い、健全性の確認を行っている。

*2:事故時に蒸気発生器への給水を早期に隔離する弁

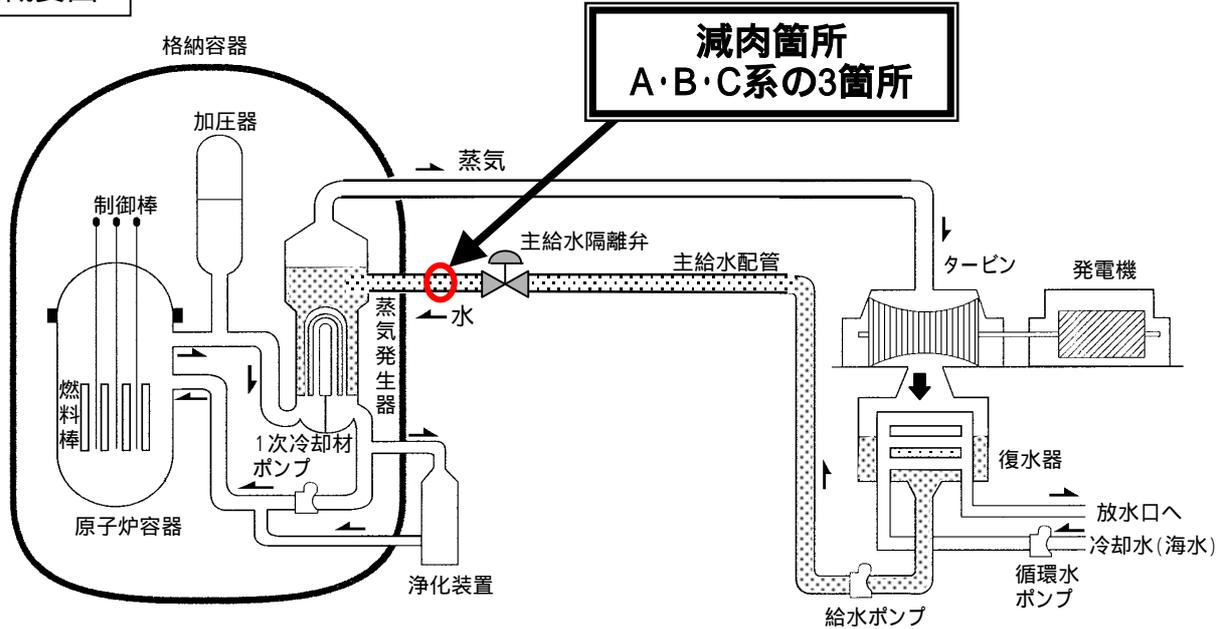
(経済産業省によるINESの暫定評価尺度)

基準1	基準2	基準3	評価レベル
-	-	0 -	0 -

問い合わせ先(担当:山本)
内線2353・直通0776(20)0314

2次系主給水配管曲がり部の減肉について

系統概要図



測定結果

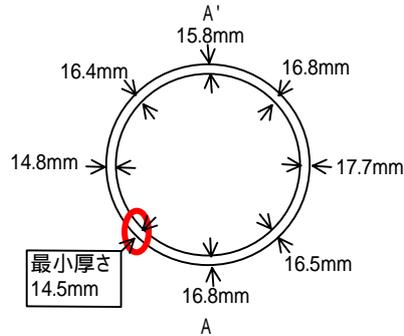
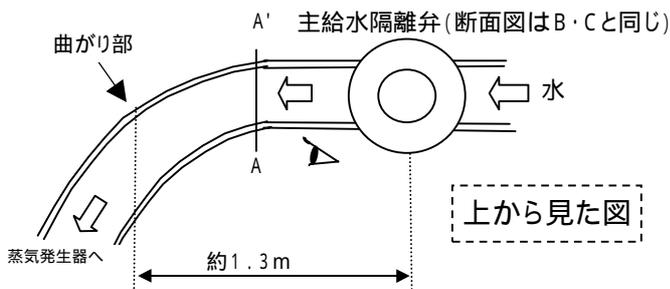
配管形状	計算上の必要厚さ	実測最小値
A-主給水管曲がり部(45°)	15.7mm	14.5mm
B-主給水管曲がり部(90°)		12.1mm
C-主給水管曲がり部(90°)		13.9mm
D-主給水管曲がり部(90°)		20.0mm

配管仕様

外 径: 約410mm
厚 さ: 約21mm
最高内圧: 約8MPa
最高温度: 約230
材 質: 炭素鋼鋼管
流 量: 約1,700t/h・ループ

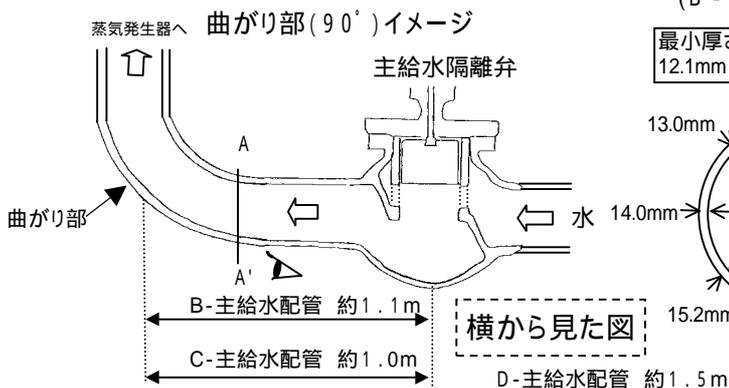
A - 主給水管曲がり部の減肉状況

曲がり部(45°)イメージ

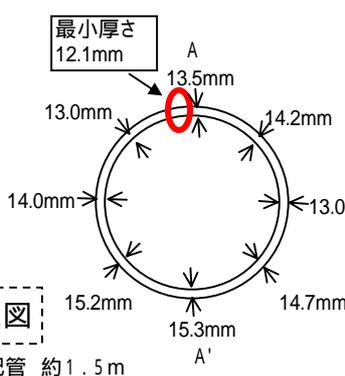


B・C - 主給水管曲がり部の減肉状況

曲がり部(90°)イメージ



(B - 主給水管曲がり部)



(C - 主給水管曲がり部)

